

MISSION

八島湿原を救え!!

ヒメジョオン バスター

皆さんは「ヒメジョオン」という植物をご存じですか？

江戸末期に観賞用として北米から輸入された帰化植物で全国の市街地から高原までごくふつうに見られる可愛いらしい一年草～越年草です。ですが、八島湿原では元々生息していない「生態系被害防止外来植物」なんです。

八島湿原にはヒメジョオンをはじめとする繁殖能力が高い外来種が増殖しており、1万2千年かけて育まれた豊かな生態系への被害が懸念されています。外来種が増える要因の一つは、訪れる人の靴や車のタイヤについた種によるものと思われます。

下諏訪町議会も参加している「八島高原を美しくする会」が毎年ヒメジョオン除去をしています。

作業場所が入口付近や広場、駐車場のため、広い湿原の中ではびこる外来種の繁殖スピードに作業が追い付かない状況です。

八島湿原では以前に比べてごみも減り、来訪者の皆さんの環境保護意識が高まり、マナー向上に感謝しております。それでも更なる環境保全は必要で、入口の土落としのマットで種を持ち込まないように気を遣っていただくと、侵入を防ぐことにつながります。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



議会だよりモニター会議を開催しました

下諏訪町議会では、8月22日に初めての試みである「議会だよりモニター会議」を開催しました。

現在活動いただいている13名の議会だよりモニターさんのうち5名の方にご参加いただき、今後の紙面づくりのために意見交換を行いました。

当日参加できなかったモニターさんからも発行ごとに毎回多くの貴重なご意見をお寄せいただいています。いただいたご意見をもとによりよい議会だよりを目指します。

過去の議会だよりや他市町村のものと見比べ、見た目の印象や読みやすさについてお聞きしました。



以前はもっと丁寧に書かれていた。今は簡潔すぎるのでは？

以前と比べて見やすくなった！



議会だより作成の流れを説明。最後にお一人ずつ感想をお話いただきました。

普段は入れない議会の議場も見学していただきました。



ページの色合い一つとっても人によって受ける印象が違い、記事のボリュームも「文字が多い」「文字が少なく情報量が足りない」など受け取り方はさまざまです。町民の皆様にとってどんな紙面が読みやすく手に取っていただきやすいか試行錯誤を続けています。